
俺と妹たち

ルーク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺と妹たち

【Nコード】

N23250

【作者名】

ルーク

【あらすじ】

小さい頃に両親が離婚し、妹達と生き別れになり、父親が再婚し新しい妹ができたが、その妹すら死に、妹が応援してくれた夢を實現するために必死で練習したが、その夢さえも父親に壊され、生きる事を諦め誰かを憎む事しかできなくなった少年—————オトバ音羽・コウヤ光也。

だが、ある日、憎い父親が死んだ。そして光也は実母に引き取られ妹たちと再会し、感情を取り戻していく。

この物語は妹と再会した光也が感情を取り戻し、恋愛をし、強くな

銃声が鳴り響き、ある女の子の肩が赤く染まった

「……何が“約束”だよ」

夢を見た、それはとても小さな頃の夢……。

「……結局、そんな約束守れなかったじゃねえか」

その夢を見るたびに思い出す、幸せな日々……。

「……傍に居てあげられなかったじゃねえか」

その夢を見るたびに思い出す、少女達の笑顔……。

「……一緒に居てあげられなかったじゃねえか」

その夢を見るたびに沸き起こる、罪悪感、自分への怒り……

「……泣かせちゃったじゃねえか」

……そして悲しみ。

「くそっ」

その夢を見るたびに、一人、部屋の中で泣く。顔を枕に押し付けて、声を漏らさずに泣く

約束を守れなかった自分への悔しさ、約束が果たせなかった少女達へ

の罪悪感に。
少年はただ、静かに涙を流す

プロローグ（後書き）

すみません、何か意見があったら言ってくれと助かります

退屈な朝

「光也。^{「フヤ}父さん、仕事行ってくる」

(……黙れ、クソが)

「ご飯、作ってあるから、後で食べなさい」

(……誰が、テメエなんかが作ったもん食うか)

「今週の昼飯代、テーブルに置いてあるから」

(……あっそ)

「……いつてくる」

(……さっさと出てけ、クズ)

ガチャッ バタンッ

クズが出て行ったのを確認して、俺は外に出た
そして、いつもの日課を実行する

チーン パンパン

「……おはよう、^{ハカナ}儂」

しばらく彼女の写真を眺めてから、テーブルの方へ向かう
そして、その食べ物を見、ペット用の皿に移す

「おい、ノラ猫ども〜！」

俺が外に出て叫ぶと

にゃー にゃー にゃー

ノラ猫が集まってきた

「飯だ。全部食べ」

にゃー にゃにゃ

それをしばらく眺めて、家に入り、着替え、金を取り、家を出ていく。

「……世界なんか、なくなっちまえ」

そう呟き、学校という名の騒がしい場所へ向かう。

退屈な朝（後書き）

すいません、下手くそですいません

感想、くれるとうれしいです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2325o/>

俺と妹たち

2010年10月21日06時11分発行